

事業所名

アソバル東新町

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

25日

法人（事業所）理念	1 障害という既成概念をなくすこと 2 決められた教育よりも共育を 3 一人ひとりの個性を最大限引き出すこと（常にチャレンジ）		
支援方針	様々な年齢や特性を持つ児童が集まる環境の中で、自己表現できるよう支援します		
営業時間	平日	9時0分	18時0分
	休校日	8時30分	17時30分
	送迎実施の有無	あり	なし（送迎範囲については応相談）
支援内容			
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康的で自立した生活を送り、身辺自立できるよう身の回りの管理を職員と一緒に取り組みます ・毎日、子どもたちの表情を読み取り、健康状態を把握していきます ・プライベートゾーンやパーソナルスペースについて学ぶ機会を設け、自分の体を大切にする気持ちを育みます ・片付けや整理整頓、自分の持ち物の管理をすることで、身辺自立を促します	
	運動・感覚	遊びの中で手先の細かい作業や、身体を動かして体幹を鍛えるトレーニングを取り入れ、体力の向上を図ります ・理学療法士と協力しながら専門的なトレーニングを取り入れていきます ・体を動かすレクリエーションを通し、ボディイメージをもてるよう支援します ・製作を通し、手指の巧緻性、集中力の向上を図ります	
	認知・行動	それぞれの個性に適した活動を取り入れ、認知機能を高めます ・認知機能を養えるよう実際に買い物に行き、お金の計算などを学びます ・日々の生活の場面を実例として、ソーシャルスキルトレーニングを行います ・レクリエーションを通して、楽しみながら遊びのルールを覚え、認知能力を向上を図ります	
	言語コミュニケーション	様々な児童と関わりながら言語の発達に合わせたコミュニケーション能力が高まるよう支援します ・日常会話を通して相互理解を図りながら話す力と聞く力を身に付けます ・終わりの会にて他児の前でその日の感想を言う機会を設け、集団の中で話す力と聞く力を身に付けます ・TP0に合わせた言葉選びを伝え、コミュニケーション能力の向上を促します	
	人間関係社会性	日常生活を通して対人関係を学び、社会性を身に付けられるよう介入していきます ・様々な遊びの中で状況を把握しながら自己理解や他者理解を養います ・公共の場所や乗り物を利用する機会を通し、外での適切な過ごし方を身に付けます ・ひとり遊びや集団遊びを通し、自己理解や他者理解を養います	
家族支援	・送迎時等に学校や家庭での様子を共有する時間を設けます ・常に家庭との連携を取りながら、要望にお応えし、面談の場を設けます ・定期的な面談を通して、日頃の様子や課題について保護者と話し合い、子どもたちの成長を一緒に見守ります	移行支援	・将来的な移行を見据えた支援目標や内容の設定を行い、学校や家庭と連携していきます ・保育所等訪問支援を通し、学校、家庭、放課後等デイサービスと情報共有を行い、進学移行へ活用します
地域支援・地域連携	・図書館や公園などの地域資源を活用します ・近隣のお店で買い物体験を行い、地域の人との関わりを持ちます	職員の質の向上	・勉強会や研修に参加し、職員が積極的に学ぶ場を整えています ・施設間で連携を取り、支援についての話し合いの場を設けます ・月1回、全職員対象の研修を行います ・ケース会議や支援のフィードバック等で情報共有を図り、支援の統一化を図ります
主な行事等	・法人内合同行事：アート展、農福連携、事業所交流イベント等の実施 ・季節行事：夏祭り、ハロウィン、クリスマス、節分、お花見		